

## 溝で囲まれた高台の集落

## は ぐろまえ **6 羽黒前遺跡**(仙台市宮城野区岩切、利府町神谷沢)



仙台市北東部と利府町南部の七北田川左岸にある丘陵の上に立地する、溝で区画された奈良時代から平安時代の集落跡です。

土地の区画整理に伴う発掘調査が、利府町教育委員会と仙台市教育委員会により令和3年度から実施されています。

令和4年度の仙台市教育委員会による調査の結果、 奈良時代から平安時代の竪穴建物跡が多数みつかると ともに、外部からの侵入を防ぐためとみられる溝が北 側の丘陵だけでなく南側の丘陵にもめぐっていたこと がわかり、集落の性格を考えるうえで貴重な発見となりました。

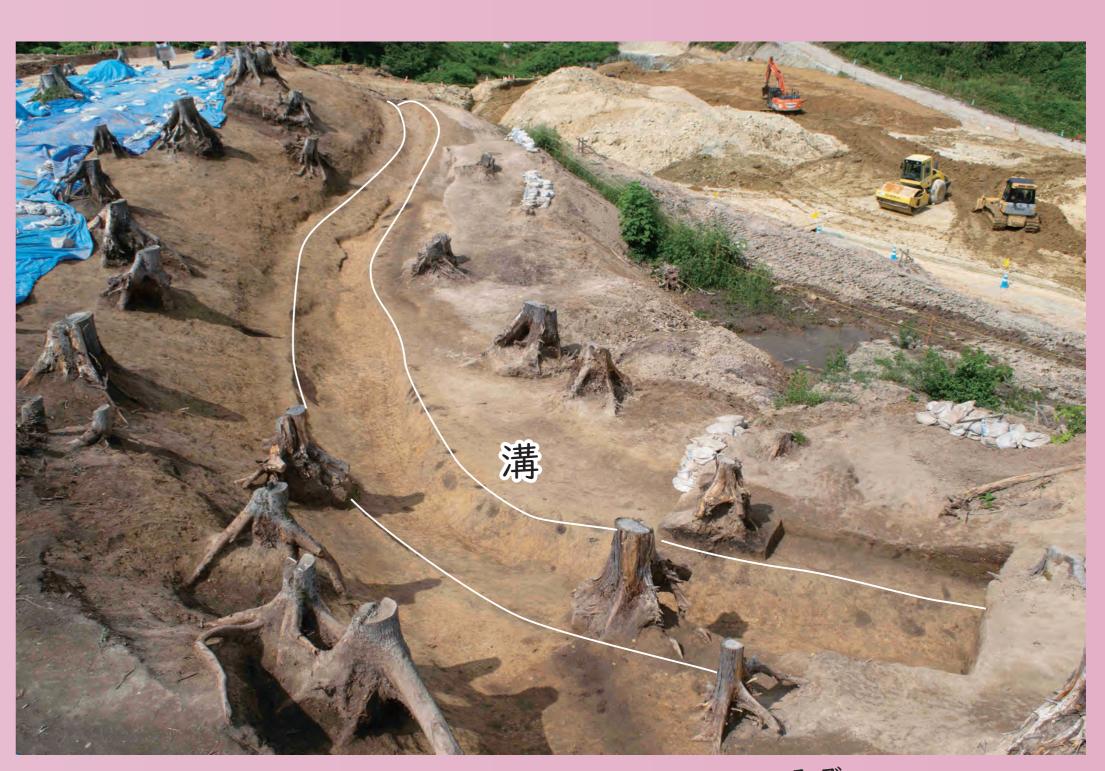
旧石器 縄文 弥生 古墳 飛鳥 奈良 平安 鎌倉 室町 安土桃山 江戸 明治



白線を引いた部分がカマドをもつ竪穴建物跡が残っていたところで、丘陵の南側斜面にたくさんの竪穴建物跡がつくられたことがわかります。



竪穴建物跡は一辺3m前後と小さく、大人2 人が床に横になると、狭く感じる広さです。



丘陵の北側斜面を東西方向に延びる溝。令和3年度の利府町教育委員会の発掘調査で確認した長さを含めると、全長は100m近くになります。

協力:仙台市教育委員会